

平成22年度

朝日町予算説明書



朝日町総務課

目 次

◎ 平成22年度 一般会計予算の概要	1
◎ 町民生活と地域経済を守る 緊急対策	2
◎ 朝日町第5次総合発展計画基本構想と平成22年度の主要な施策	3
◎ 第2次朝日町定住促進ビジョン	5
◎ 事業別予算説明	
1. 信頼とつながりにより地域の力をつくる「地域力の向上」	
1-1 地域を支える人材の育成	7
1-2 郷土愛を育む活動の推進	7
1-3 未来を担う子ども達の教育環境づくり	9
2. 安定した暮らしができる産業をつくる「産業力の向上」	
2-1 地域特性を活かした農業の産地力の強化	10
2-2 まちに活力を生み出す産業の創出	12
2-3 地域の宝物を活用した交流・観光の推進	14
3. 安心と魅力のある定住環境をつくる「定住力の向上」	
3-1 みんなで支える子育て環境の整備	15
3-2 健康で、生きがいをもって活動できる環境の整備	19
3-3 安全安心で、快適な環境の整備	20
◎ 平成22年度 当初予算額（会計別総括表）	25
◎ 一般会計予算額（決算額）の推移	26

平成22年度 一般会計予算の概要

平成22年度町長方針 (町政運営の基本方針)

交流を促進し、町民との協働により、町の活力を高める。

～「産業力」を中心とした施策により、大きく飛躍します。～

人材育成、地域の力

暮らしを守る、産業の力

基盤整備、定住の力

- ・「第5次朝日町総合発展計画」及び「平成22年度町長方針」に基づく施策に財源を重点配分。
- ・併せて、100年に一度と言われる世界的な経済金融危機にあたって、町民生活と地域経済を守る観点から、21年度補正予算、22年度予算と、切れ目なく連続的に施策を実行。
- ・厳しい財政状況を踏まえ、行財政改革に引き続き取り組むことにより、人件費をはじめとする一般行政経費の抑制を行い、政策的経費の財源を確保する。

(千円)

(1) 第5次朝日町総合発展計画を実現するための3つの柱に行財政資源を集中

信頼とつながりにより地域の力を高める	【地域力の向上】	162,752
安定した暮らしができる産業をつくる	【産業力の向上】	149,676
安心と魅力のある定住環境をつくる	【定住力の向上】	1,098,474

(2) 町民生活と地域経済を守る、緊急対策の実施 【(1)の再掲】

普通建設事業の堅実な実施	391,998
緊急雇用対策	26,700
地域産業への緊急支援	11,000

1. 予算規模 41億2,000万円

(平成21年度当初 46億4,500万円、5億2,500万円(11.3%)の減)

2. 歳入について

一般財源

(単位：千円、%)

	22年度	21年度比較増減		
		額	率	
町税	569,548	30,797	5.1	町民税の減
地方交付税	2,260,000	50,000	2.3	普通交付税：経済対策による増、公債費の減
臨時財政対策債	244,300	22,100	9.9	普通交付税からの振り替え分の増
財政調整基金繰入金	67,000	31,000	86.1	
減債基金繰入金	0	65,544	皆減	21年度繰上償還実施
その他(譲与税、交付金他)	184,445	802	0.4	地方財政計画に基づく推計による
一般財源総額	3,325,293	7,561	0.2	

3. 町民生活と地域経済を守る緊急対策

(千円)

普通建設事業の堅実な実施

391,998

比較的に少額の事業を数多く実施し、地域の事業者の受注機会を確保する

雇用対策

26,700

緊急雇用対策

26,250

町臨時職員を増員し雇用の場を確保するとともに、事業者が行う失業者の雇用を支援する

新規学卒就業者奨励金

450

町内に就業する新規学卒者に対して、3万円を給付する

地域産業への緊急支援

11,000

持家住宅建築奨励金

4,500

50万円(工事費の10%)を限度に、持ち家住宅の建設工事(新築、増改築、修繕、模様替え、外構工事)に対して助成金を交付

木材製品利用住宅建築奨励金

1,500

30万円(使用国産材費の40%)を限度に、持ち家住宅の建設工事(新築、増改築、修繕、模様替え)に対して助成金を交付

商工業融資制度保証料補給金

3,600

セーフティネット保証への対応

商店街活性化対策

1,400

地域振興券の10%増分であるプレミアムセットへの補助

《参考》

平成21年度補正予算対応分

(千円)

地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業 【国2次補正】 140,250

～平成22年度以降の実施を計画していた事業の前倒し実施、事業内容の拡充～

庁舎修繕事業	2,000
デマンド交通車両車庫整備事業	22,900
あさひ保育園里山整備事業	10,000
町立病院整備事業	11,200
案内板設置事業	2,700
朝日自然観整備事業	9,200
町道整備事業	18,200
町営住宅整備事業	6,300
住宅団地整備事業	40,000
西部公民館整備事業	5,000
小学校整備事業	4,200
中学校整備事業	7,200
体育施設整備事業	1,350

基本構想

空気澄み 人つながり 志高く

未来を拓く 朝日町

いつの時代も自信と誇りを持ち
住みたい、ずっと住み続けたい
魅力のあるまちをつくる

～ 自立した地域をつくる ～

地域力

定住力

産業力

ともに考え
ともに築く
まちをつくる

～ 人と人の
「つながり」が
あるまち ～

『交流』による
活力のある
まちをつくる

～ 交流による
新たな「価値」と
「にぎわい」の創造 ～

時代に適応した、信頼される行政の確立

- 新鮮な情報を受・発信し、町民とともに考え、ともに行動する行政の確立
- 町民に分かり易い経営を目指し、町民の視点に立った成果指向の行政システムの構築
- 自立を支える行財政基盤の確立

【 平成22年度の主要な施策 】

定住力の向上

安心と魅力のある定住環境をつくる 1,098,474

- みんなで支える子育て環境の整備
～働いている親も安心して子育てのできるまちづくりを進める～
・ 町民が安心して利用できる安全な子育て支援拠点施設の整備・活用 41,517
(子育て拠点施設の運営、保育園跡地の利活用等)
・ 子育てに係る経済的負担の軽減 177,787 (うち【再掲】675)
(第2子以降の保育料軽減、通園バスの無料運行、未就学児の医療費完全無料化等)
・ 健やか健診、育児健診等の実施 5,547 (妊婦健康診査無料化の拡充)
・ 地域で支える子育て環境の整備・充実 7,163 (放課後児童クラブ・放課後子ども教室の実施)
- 健康で、生きがいをもって活動できる環境の整備
～生涯現役で活躍できる健康な人を増やす～
・ 健康づくりと健康チェックの充実 33,396 (がん検診、特定健診の実施等)
・ 安心して暮らせる環境整備 159,748 (うち【再掲】2,580)
(在宅福祉の支援、障がい者福祉の支援、長寿クラブ等)
・ 地域医療の充実 217,136 (朝日町立病院運営補助)
・ 介護支援の充実 102,859 (介護保険特別会計への繰出)
・ 地域における支え合い：高齢者自立生活支援システムの整備 20,213
(社会福祉協議会・シルバー人材センター運営補助、元気クラブへの支援等)
- 安全安心で、快適な環境の整備
～地域ぐるみの支え合いと、生活を支える基盤をつくる～
・ 災害に備える基盤整備や地域防災体制の確立 45,488
(耐震性貯水槽の整備、木造住宅簡易耐震診断助成、消防団員活動服整備等)
・ 地域ぐるみで支える雪対策事業の推進 【再掲】1,700
(除雪用ドーザの計画的更新、【再掲】地域提案型交付金)
・ 快適で多様な住宅環境の整備 33,089 (持家住宅建築助成、合併処理浄化槽の設置補助等)
・ 安全で便利な交通環境の整備 208,595 (町道等の整備、山形直行バス・デマド型乗合バス等の運行)
・ 情報通信環境の整備 24,049 (地上デジタル放送難視地区での共同受信施設整備の支援等)
・ 循環型地域社会の構築 1,397 (澄んだ空気を守る町民運動の展開、菜の花プロジェクト等の推進)
・ 詩情溢れるふるさと景観の構築 20,490 (まちづくり活動支援、フットパス周辺環境等)

地域力の向上

信頼とつながりにより地域の力をつくる 162,752

- 地域を支える人材の育成
～地域課題を自ら捉え、やる気と挑戦する人をつくる～
・ 地域を支えるリーダー、NPO等の団体育成 1,000
(協働のまちづくり推進プロジェクト(人材養成事業))
- 郷土愛を育む活動の推進
～地域に自信と誇りを持つ人を育てる～
・ 一人一人が町を好きになる取組み 14,078
(「朝日町読本」の普及・「朝日町検定」の実施、各町立公民館での各種講座等)
・ 集い学び合う交流環境づくり 交流による地域の元気づくり 31,736【再掲】5,400
(自治公民館の整備・改修 【再掲】観光案内板整備、まちづくり活動支援等)
・ みんなで考え支え築くコミュニティづくり 19,118
(町職員地域支援担当事業、地域提案型交付金、雪対策支援事業、集落点検の実施等)
- 未来を担う子ども達の教育環境づくり
～心身のたくましい健やかな子どもをみんなで育てる～
・ 子どもに合った教育の場の確保・応用力ある確かな学力を育てる 28,200
(各学校における学力向上への支援、特別支援学校就学助成事業、英語指導助手配置等)
・ 豊かな体験を通して自主・自立の心とたくましさの育成 【再掲】3,000
(【再掲】町立中学校職場体験学習、各町立公民館での各種講座や教室の支援等)
・ 地域、家庭の教育力向上への支援 560
(家庭・学校・地域一体の子育ての推進等)
・ 安心して教育が受けられるための支援・教育内容に合った施設設備整備 68,060 (うち【再掲】6,595)
(宮宿小学校体育館整備、スクールバス更新・運行委託【再掲】山形直行バスの運行等)

産業力の向上

安定した暮らしができる産業をつくる 149,676

- 地域特性を活かした農業の産地力の強化
～朝日町ブランドづくりを進める～
・ 安全安心・美味しい日本一の「りんご」づくり 15,140
(奨励品種や新技術の導入促進、りんご輸出拡大支援、和合大堰の改修等)
・ 園芸作物や米などのブランド品づくり 1,650
(ブランド米確立と販売促進、「安全安心米」づくりへの支援)
・ 農業の担い手の育成 6,786
(後継者・新規就農者への初期投資等に係る支援、農家提案型補助事業等)
- まちに活力を生み出す産業の創出
～多様な連携による産業集積と創造的【ものづくり】の推進～
・ 既存企業の振興 41,260
(商業活性化対策事業補助、緊急雇用対策事業、新規学卒就労者奨励金等)
・ 新たな事業創出への支援・育成：「場」のブランドづくり 14,500
(新事業経営安定対策、企業立地奨励補助、朝日町産業創造推進機構への支援等)
- 地域の宝物を活用した交流・観光の推進
～地域資源や「食」の活用と、情報発信力を強化する～
・ 交流・観光資源の整備 60,584
(地域資源を活かした体験観光の推進、子ども農山漁村プロジェクト等の教育旅行受入、朝日自然観の維持修繕等)
・ 観光振興体制の充実 6,000
(観光振興推進員の配置、観光協会の体制強化等)
・ 観光交流情報の収集・発信体制の充実 3,756
(観光協会ホームページの充実、地域ブランドの戦略的な構築等)

【第2次朝日町定住促進ビジョン】

期間：平成22年度～平成24年度
(主な取り組み)



「職・育・住」^{かける}×「交流」で定住魅力度アップ↑↑ 朝日町ならではの「暮らし」を提案します!

子育て世代が
住みやすいまちに

^{かける}×「交流」……(町外の人やものと、観光・経済・教育などを通しての交流を促進し、町の活力アップをはかります。)

★印……平成22年度から新規に、または拡充して取り組むものです。

◇交流観光、交流体験を促進します

- ★新たな交流拠点施設(蔵)を核とした事業の展開【新規】
- ★朝日町ファンクラブの設立【新規】
- ★人材の育成と交流体験モデル事業の実施【新規】
- ★観光協会の機能充実・強化(観光推進員の配置)【拡充】
- ★朝日・大江・白鷹3町連携による観光事業の展開【拡充】
- ★地域ブランド推進事業の実施【新規】
- 環境に配慮した取り組みの推進(菜の花プロジェクト等)

◇教育分野での交流を促進します

- ★園児と児童生徒の保育交流【拡充】
- 町外学校との相互交流促進
- ◇結婚への頑張りの後押しします
- ★地域での婚活応援事業の支援【拡充】

◇転入を促進できる環境をつくります

- ★空き家バンクの運営【新規】
- ★空き家リフォームの支援【新規】
- 定住相談総合窓口の充実

職・育・住 それぞれの事業を充実させながら、さらに交流という要素を加えることで、新しい町の魅力を作り出します。

職

仕事のチャンスを見つけよう!

仕事へのチャレンジを实らせるために

◇起業家を育成し、新事業創出を進めます

- ★産業立地促進奨励制度・推進員の強化【拡充】
- ★都市とのパートナーシップ事業の支援【拡充】
- ★起業家の育成・支援【拡充】
- 商工業開業支援基金利子補給制度の実施
- 新事業経営安定対策事業の実施

◇安心して生活できる雇用を確保します

- ★ふるさと雇用再生事業と緊急雇用創出事業の拡大【拡充】
- ★新規学卒就業者奨励制度の実施【新規】
- ★企業誘致の推進【拡充】
- 勤労者生活安定資金融資制度の実施



農業経営の未来を切り拓くために

◇農業の担い手を集中して支援します

- ★新規就農者育成事業の実施【拡充】
(県立農業大学校入校や機械購入の補助)
- 農家提案型補助事業の実施
- ★新規就農者受入総合窓口の設置【新規】

◇農家の所得向上を促します

- ★朝日町ブランド米の確立支援【新規】
- 高品質りんご生産緊急対策事業の実施
- りんごの輸出拡大支援



育

子育てをもっと楽しもう!

安心して産み・育てられるように

◇出産・子育てに係る経済的負担を軽減します

- 第2子以降(3歳以上)保育料5千円の定額化継続
- 無料妊婦健康診査の拡充
- ★通園バス利用料の無料化【新規】

◇多様な保育ニーズに応えます

- ★0歳児保育の実施(生後6か月以降)【新規】
- ★休日保育の充実(毎週土曜日)【拡充】
- ★保育内容の充実(園外保育、就学に向けた保育)【拡充】



◇子育てを支える多様な仕組みを作ります

- ★子育て支援センターの充実(土・日開所)【新規】
- 学童保育、放課後子ども教室の充実
- ★子育てボランティア「あさひ子育て応援隊」の設立【新規】
- ★総合型地域スポーツクラブを通じた親子健康づくり【新規】

自主・自立の心と確かな学力を育むために

◇個々の能力を最大限に伸ばします

- ★宮宿小学校体育館の整備【新規】
- ★生活指導員及び学習指導員の配置強化【拡充】
- 小学校における英語活動の充実

◇特色ある教育を実施します

- ★保育園・小学校・中学校の連携強化【拡充】
(年長園児の小学校授業参観など)
- 朝日町版職場体験学習の充実

◇通学を楽しめます

- 山形直行バスと山交バスとの共通利用サービス
- バス定期券に対する補助



住

ゆとりある住まいを持つよう!

希望にあった住まい・居住空間の実現のために

◇町営アパート、住宅団地を提供します

- 町営アパート
(蔵ハイツ大町、みなみハイツ、中郷ハイツほか)
- ★住宅団地の整備(大谷地区)【新規】

◇住宅を建てやすくします

- ★持家住宅建築奨励事業の実施【新規】
- 木材製品利用住宅建築奨励事業の継続
- 合併処理浄化槽設置若者定住促進補助の継続



みんな誰もが安全・安心して暮らせるために

◇住まいを雪・災害から守ります

- 地域で支える雪対策事業の実施
- ★住宅建築物簡易耐震診断の実施【新規】
- ★減災対策訪問アドバイスの実施【新規】
- ★高齢者減災対策補助の実施【新規】

◇交通アクセスを便利にします

- ★デマンドタクシー「あいのり号」の運行【新規】
- ★山形直行バスダイヤの利便性改善【拡充】
- 県都までのアクセス改善推進



町が取り組む施策で、あなたにピッタリの「いい暮らし」が見つかります😊

1. 信頼とつながりにより地域の力をつくる

「地域力 の向上」

基本方針 1-1：地域を支える人材の育成

～地域課題を自ら捉え、やる気と挑戦する人をつくる～

☆ 地域を支えるリーダー、NPO等の団体育成 「協働のまちづくり推進プロジェクト」

(担当：教育文化課)

町では、「協働のまちづくり指針」を策定し、町民が自主的に町づくりに参加し、町民と行政との協働によるまちづくりを本格的に進めます。

そのためには、地域を支え、町を支える人材が必要不可欠であり、「あさひ未来塾」から発展したグループの活動支援と新たな人材育成事業に取り組みます。



主な経費

・プロジェクト運営委託料	100万円
----- 財 源 内 訳 -----	
・町の負担（一般財源）	100万円

基本方針 1-2：郷土愛を育む活動の推進

～地域に自信と誇りを持つ人を育てる～

☆ みんなで考え支え築くコミュニティづくり 「地域提案型交付金事業」

(担当：政策推進課)

地域の創意と工夫を活かした「元気な地域づくり」をめざす住民自治活動を支援するため、各地区に対して「地域提案型交付金」を交付します。

主な経費

・地域提案型交付金、雪害対策事業	1,350万円
----- 財 源 内 訳 -----	
・町の負担（志藤六郎村おこし基金からの繰入れ）	300万円
・町の負担（一般財源）	1,050万円

☆ みんなで考え支え築くコミュニティづくり

「町職員地域支援担当事業」

(担当：政策推進課)

平成 20 年度からの継続事業として、地域づくりの推進を目的に、町職員を「地域支援担当職員」として各区に配置し、各区の計画実現や課題解決に向けた取り組みを行い、協働のまちづくりを進めます。

主な経費

・協働のまちづくり、地域支援担当事業 他	69万円
・美しい農村づくりの継続、地域づくり対策 他	143万円
・旧小学校校舎等利活用推進	20万円

----- 財 源 内 訳 -----

・町の負担（一般財源）	232万円
-------------	-------

「集落対策支援事業」

(担当：政策推進課)

高齢化率が高い地区等を対象に、集落調査員と職員の協働による集落の状況把握や集落点検を実施し、その結果を活用し、集落の問題解決に向け取り組みます。

主な経費

・集落調査の実施、地域計画づくりの支援	35万円
---------------------	------

----- 財 源 内 訳 -----

・町の負担（一般財源）	35万円
-------------	------

☆ 一人一人が町を好きになる取組み

「朝日町の魅力発見事業」

(担当：政策推進課)

町の魅力を分かりやすく、おもしろく知っていただき、これまで以上に町を好きになり、誇りにつなげてもらうため、これまでのエコミュージアム活動の成果や、町史編さんを活用し、町内外の方々に町の魅力を発信していきます。

主な経費

・「朝日町読本」を活用した「朝日町検定」の実施	新規 38万円
-------------------------	----------------

----- 財 源 内 訳 -----

・町の負担（一般財源）	38万円
-------------	------

基本方針 1-3：未来を担う子ども達の教育環境づくり

～心身のたくましい健やかな子どもをみんなで育てる～

☆ 子どもに合った教育の場の確保・応用力ある確かな学力を育てる

「学力向上支援事業」

(担当：教育文化課)

一人ひとりの児童・生徒に対するきめ細やかな教育を支援し、知識や技能、思考力等の総合的な学力の向上を図ります。

平成22年度学級編成一覧表(予定)

学校名	児童・生徒数							学級数
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
西五百川小学校	8	12	13	13	11	17	74	7
宮宿小学校	32	30	38	29	30	41	200	8
大谷小学校	13	22	13	12	14	17	91	7
朝日中学校	55	75	65				195	8

主な経費

- ・ 学力向上推進事業 **拡充** 1 8 4 万円
- ・ 学習生活指導補助員等の配置 **拡充** 6 1 8 万円
- ・ 英語指導助手 (ALT) 招致事業 4 7 1 万円

----- 財 源 内 訳 -----

- ・ 町の負担 (一般財源) 1, 2 7 3 万円

☆ 安心して教育が受けられるための支援・教育内容にあった施設整備

「宮宿小学校体育館整備事業」

(担当：教育文化課)

安全・安心な学校生活を送れるよう、宮宿小学校体育館の改築に着手するため、実施設計を行います。

主な経費

- ・ 宮宿小学校体育館整備事業 **新規** 1, 8 0 0 万円

----- 財 源 内 訳 -----

- ・ 町の負担 (借金・学校教育債等) 1, 6 2 0 万円
- ・ 町の負担 (一般財源) 1 8 0 万円



2. 安定した暮らしができる産業をつくる

「産業力 の向上」

基本方針 2-1：地域特性を活かした農業の産地力の強化

～朝日町ブランドづくりを進める～

☆ 安全安心・美味しい日本一の「りんご」づくり

「高品質りんご生産緊急対策事業」

(担当：産業振興課)

樹木の高齢化と品種構成の偏りによる品質低下を抑え、「朝日町りんご」の更なるブランドづくりを行うため、高接ぎ・ワイ化改植及び苗木購入による優良品種への更新について支援します。

主な経費

・高品質りんご生産緊急対策事業 **拡充**

789万円

----- 財 源 内 訳 -----

・町の負担（一般財源）

789万円

○補助対象品種

シナスweet、秋陽、ファーストレディ

○その他

詳細については、担当までお問合せ下さい。



☆ 「安全安心米」づくり「清流美人」等のブランド化、販売促進の支援

「ブランド米生産・販売促進事業」

(担当：産業振興課)

人工衛星を利用し、刈り取り前に良質米を厳選した「あさひ清流美人」のブランド確立を図るため、生産技術の向上及び販売促進を支援します。

主な経費

・ブランド米生産・販売促進事業 **拡充**

165万円

----- 財 源 内 訳 -----

・町の負担（一般財源）

165万円

☆ 農業の担い手の育成

「後継者・新規就農者支援対策事業」

(担当：産業振興課)

弟子入り制度や生活支援及び就農条件の整備など、新規就農者等が安心して就農できる総合的な支援体制づくりを図ります。

主な経費

・受入れ農家への研修受入助成	7 2 万円
・研修期間中の家賃補助 拡充	2 4 万円
・新規就農者生活支援 新規	6 0 万円
・農業大学校授業料補助 新規	2 4 万円
・就農条件整備支援 新規	2 0 0 万円

----- 財 源 内 訳 -----	
・町の負担（一般財源）	3 8 0 万円

「農業新分野等支援事業（農家提案型補助事業）」

(担当：産業振興課)

農業団体や認定農業者・新規就農者等が行う、農業分野での先進的な取り組みとなる事業や新技術導入事業など、町農業振興のモデルとなる事業について支援します。

主な経費

・農業新分野等支援事業	2 0 0 万円
-------------	----------

----- 財 源 内 訳 -----	
・町の負担（一般財源）	2 0 0 万円

《支援例》

- 花木通年栽培普及支援
- 施設園芸新規作物導入支援
- 果樹栽培新技術導入支援



基本方針 2-2 : まちに活力を生み出す産業の創出

～多様な連携による産業集積と創造的 [ものづくり] を進める～

☆ 既存企業の振興

「商工業活性化対策事業」

(担当 : 産業振興課)

商工業者の経営力の向上と商店街の活性化を図るため、商工会や事業振興協議会が主体で取り組む事業に対し補助金を交付します。

主な経費

・町商工会指導事業	350万円
・産業まつり 拡充	70万円
・商業活性化対策事業 拡充	210万円
・事業振興協議会補助	17万円

財源内訳

・町の負担 (一般財源)	647万円
--------------	-------

「新規学卒就労者奨励金支給」

(担当 : 産業振興課)

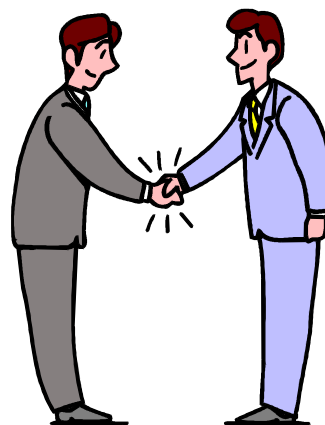
就業と町内事業所の雇用確保を支援するため、町内に就業する新規学卒者に対して3万円を支給します。

主な経費

・新規学卒就労者奨励金支給 新規	45万円
-------------------------	------

財源内訳

・町の負担 (一般財源)	45万円
--------------	------



☆ 新たな事業創出への支援・育成：「場」のブランドづくり

「新事業経営安定対策事業」

(担当：産業振興課)

朝日町の地域資源を活用した付加価値の高い特産品開発等による新たな事業経営に対し、平成 20、21 年度に引き続き奨励金を貸与します。

主な経費

・新事業経営安定対策事業 **拡充** 200万円

財源内訳

・町の負担（一般財源） 200万円

《奨励金の貸与と返還》

経費総額の 50%以内で 100万円を限度に奨励金として貸与します。

貸与期間が終了した時点でその事業を継続している場合は、奨励金の返還が免除されます。

「朝日町産業創造推進機構支援事業」

(担当：産業振興課)

平成 20 年度に創設された「朝日町産業創造推進機構」へ運営のための補助金を交付し、起業のための支援や、起業された方への経営安定化に向けた支援、都市との交流観光事業による商品の販路開拓等を行います。



主な経費

・朝日町産業創造推進機構運営補助 800万円

財源内訳

・町の負担（一般財源） 800万円



基本方針 2-3：地域の宝物を活用した交流・観光の推進

～地域資源や「食」の活用と、情報発信力を強化する～

☆ 観光振興体制の充実

「観光振興推進員設置事業」

(担当：産業振興課)

交流人口の拡大を目指し、町の観光情報の収集や発信、また観光資源の調査や観光ソフトの開発など更に充実させるため、観光協会に「観光振興推進員設置補助」を交付し、観光振興体制の充実を図ります。

主な経費

・観光振興推進員設置補助	500万円
----- 財 源 内 訳 -----	
・町の負担（一般財源）	500万円

☆ 観光交流受入体制の充実

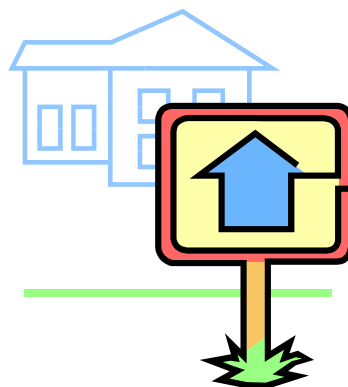
「街なか観光振興事業」

(担当：産業振興課)

来訪者へのもてなしの心を大切に持ち、更なる観光交流を推進するため、「地域資源」・「蔵」・「食」を活用するとともに観光案内板を設置し、受入体制の充実を図ります。

主な経費

・街なか観光振興 新規	1,550万円
・蔵活用事業 新規	141万円
----- 財 源 内 訳 -----	
・国の補助	1,008万円
・町の負担（一般財源）	683万円



3. 安心と魅力のある定住環境をつくる

「定住力」の向上

基本方針 3-1：みんなで支える子育て環境の整備

～働いている親も安心して子育てのできるまちづくりを進める～

☆ 子育てを支える多様な仕組みづくり

「子育て支援センターの開設」

(担当：健康福祉課)

新しく開園する「あさひ保育園」に「子育て支援センター」を設置し、子育てに困った時や、子育てに関する情報を知りたいときなど、乳幼児を持つ保護者達が、少しでも安心して子育てができるように支援します。

主な経費

・子育て支援センター運営費等	拡充	770万円
----- 財 源 内 訳 -----		
・県の交付金		375万円
・町の負担（一般財源）		395万円

☆ 多様な保育ニーズへの対応

「早朝・延長・土曜・3歳未満児保育等の実施」

(担当：健康福祉課)

「あさひ保育園」では、働きながら子どもを育てている保護者が、安心して子育てできるように、通常保育のほか、早朝・延長保育に土曜保育を加えるなど、多様な保育サービスを提供します。

「あさひ保育園」平成22年度入所児童数（予定）

3歳児未満	3歳児	4歳児	5歳児	計
33	46	48	54	181

主な経費

・早朝、延長、土曜保育、未満児保育費	拡充	2,201万円
----- 財 源 内 訳 -----		
・町の負担（一般財源）		2,201万円

☆ 子育てにかかる経済的負担の軽減

「未就学児医療費完全無料化事業・小学生入院医療費完全無料化事業」

(担当：健康福祉課)

子育て支援策のひとつとして、「朝日町未就学児医療費完全無料化事業・小学生入院医療費完全無料化事業」を実施しています。これは、県の子育て支援の非該当者及び、県の子育て支援医療制度において発生する自己負担分に対し、町がさらに助成するものです。

ただし、入院時の食事代や差額室料など自費負担のものは該当しませんのでご注意ください。

主な経費

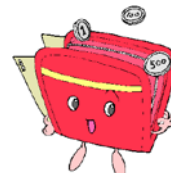
- ・子育て支援医療給付費、子育て支援医療審査支払等 1,220万円

----- 財 源 内 訳 -----

- ・県の負担 487万円
- ・町の負担（一般財源） 733万円

○手続きの流れ

受診 ⇒ 自己負担金の支払い ⇒ 領収書を役場に提出 ⇒ 後日口座に振込



「第2子以降（3歳児以上）の保育料の軽減」

(担当：健康福祉課)

子育て支援策のひとつとして、平成19年度から第2子以降（3歳児以上）の保育料を5,000円に定額化しています。（3歳未満児保育料は対象外です。）

平成22年度も引き続き実施します。



影響額

- ・5,000円定額化による保育料の軽減総額 1,849万円

☆ 子育てにかかる経済的負担の軽減

「子ども手当支給事業」

(担当：健康福祉課)

中学 3 年生までの子どもを対象に、月額 13,000 円を支給します。

主な経費

・子ども手当支給 **新規** 1 億 1,222 万円

----- 財 源 内 訳 -----

・国の負担 8,429 万円
 ・県の負担 1,393 万円
 ・町の負担（一般財源） 1,400 万円

「18 歳以下季節性インフルエンザ予防接種助成事業」

(担当：健康福祉課)

18 歳以下の子ども等が受けた季節性インフルエンザ予防接種費用に対し、1,500 円を限度に町が助成します。

主な経費

・18 歳以下インフルエンザ予防接種助成 68 万円

----- 財 源 内 訳 -----

・町の負担（一般財源） 68 万円

「ヒブワクチン（細菌性髄膜炎予防）接種助成事業」（担当：健康福祉課）

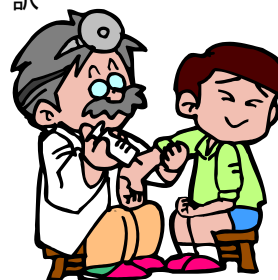
乳幼児が罹患し重症化しやすい細菌性髄膜炎の予防接種費用に対し、1 回あたり 2,500 円を限度に町が助成します。

主な経費

・ヒブワクチン予防接種助成 **新規** 20 万円

----- 財 源 内 訳 -----

・町の負担（一般財源） 20 万円



☆ 健やか健診、育児健診等の実施

「妊婦健康診査助成事業」

(担当：健康福祉課)

子育て支援策のひとつとして、無料妊婦健診受診券交付を14回分とします。これにより、経済的負担を軽減するとともに、妊婦健康診査の受診を推進し、母体や胎児の健康確保を図ります。

主な経費

・ 無料妊婦健診受診券交付（14回分）	413万円
・ 妊婦健診償還払補助	8万円

----- 財 源 内 訳 -----

・ 国の補助	123万円
・ 町の負担（一般財源）	298万円

☆ 地域で支える子育て環境の整備・充実

「放課後児童クラブの開設」

(担当：教育文化課)

放課後の子ども達が安全安心で健やかな居場所を確保するため、「放課後子ども教室」を行います。

また、仕事などで保護者や家族の方が、昼間家庭に不在となる児童等に対しては、「放課後児童クラブ」を開設します。

主な経費

・ 放課後子ども教室	拡充	148万円
・ 放課後児童クラブ	拡充	569万円

----- 財 源 内 訳 -----

・ 県の負担	222万円
・ 町の負担（一般財源）	495万円



基本方針 3-2：健康で、生きがいをもって活動できる環境の整備

～生涯現役で活躍できる健康な人を増やす～

☆ 地域医療の充実

「朝日町立病院運営費」

(担当：町立病院)

町民の皆様へ、質の高い思いやりのある医療・保健・福祉を提供いたします。

主な経費

・町立病院収益的収支	7億6,520万円
・町立病院資本的支出	5,091万円

----- 財 源 内 訳 -----

・病院会計	5億9,573万円
・病院会計の負担（借金・病院債）	160万円
・国の補助（国保調整交付金）	164万円
・国の補助（交付税）	1億8,576万円
・町の負担（一般財源）	3,138万円

☆ 地域における支え合い：高齢者自立生活支援システムの整備

「高齢者生きがい活動支援」

(担当：健康福祉課)

社会福祉協議会、シルバー人材センター、民生委員など各推進機関の連携を図り、各種教室や元気クラブなど、楽しみながら健康で社会参加できる高齢者の生活を支援する活動を進めます。



主な経費

・社会福祉協議会、シルバー人材センター運営補助	885万円
・民生児童委員活動費等	427万円
・各種生きがいづくり大会	9万円
・長寿クラブ助成	126万円

----- 財 源 内 訳 -----

・県の負担	271万円
・町の負担（一般財源）	1,176万円

介護保険特別会計で行っている主な事業

- ①介護予防事業 745万円（ぴんしゃん教室、介護予防教室、元気クラブ等）
- ②包括的支援事業 21万円（ケアマネージャー支援）
- ③任意事業 506万円（紙おむつ支給事業、介護者交流会等）

基本方針 3-3 : 安全安心で、快適な環境の整備

～地域ぐるみの支え合いと、生活を支える基盤をつくる～

☆ 災害に備える基盤整備や地域防災体制の確立

「木造住宅簡易耐震診断助成事業」

(担当：建設水道課)

大規模地震に備え、木造住宅の耐震診断を希望する住宅の所有者に対し、町で耐震診断士を派遣し、その費用の一部を負担します。

■ 診断士派遣費用 6 万円 (1 棟当たり)

【負担割合】

- ・町の負担 (9割) 54,000円
- ・所有者負担 (1割) 6,000円

主な経費

・ 木造住宅簡易耐震診断委託 (50戸分) **拡充** 300万円

----- 財 源 内 訳 -----

- ・ 国の負担 150万円
- ・ 町の負担 (一般財源) 150万円

☆ 快適で多様な住宅環境の整備

「持家住宅支援事業」

(担当：建設水道課)

自ら居住する持家住宅の50万円以上の建設工事（新築、増改築、修繕等）に対し、助成金を交付します。（町内建設業者との契約に限ることとし、費用の10%以内、50万円を限度とします。）

また、町内に建築された木造住宅（新築及び増改築）に対し、助成金を交付します。（国内産木材製品額の40%以内とし、30万円を限度。）

ただし、30万円以上の国内産木材製品を、町内製材業者から納入し使用するか、または町内建築業者施工のものに限ります。

主な経費

- ・ 持家住宅建築奨励助成金 **新規** 450万円
- ・ 木材製品利用住宅建築奨励助成金 150万円

----- 財 源 内 訳 -----

- ・ 町の負担 (一般財源)



☆ 快適で多様な住宅環境の整備
「合併処理浄化槽の設置補助」

(担当：建設水道課)

町では、大谷地区を除く町内全域において、合併処理浄化槽の設置について、多様な助成制度等を設け普及促進に努めています。

主な経費

・合併処理浄化槽設置補助 1,403万円

----- 財源内訳 -----

・国の負担 264万円

・町の負担（一般財源） 1,139万円

各種助成制度の一例

①若者定住奨励金（5万円）

合併処理浄化槽を設置した年度において、夫婦の一方が40歳未満、または18歳以下の扶養者が1名以上の世帯

②転入者奨励金（20万円）

合併処理浄化槽を設置した年度において転入した世帯

☆ 安全で便利な交通環境の整備

「町道整備事業・町道維持補修事業」

(担当：建設水道課)

町が管理する町道において、維持補修や整備を計画的に進めるとともに、橋梁の長寿命化に向けた計画づくりに着手します。

主な経費

・町道維持補修 1,352万円

・町道整備（県道整備町負担金1,200万円含む） 1億4,925万円

・橋梁長寿命化策定事業 300万円

----- 財源内訳 -----

・国の交付金 8,125万円

・町の負担（借金・過疎債） 5,870万円

・町の負担（借金・臨道債） 630万円

・町の負担（一般財源） 1,952万円

予定箇所 ・三中線（常盤）
・三中2号線（高田）
・一本松線（能中）
・田中線（大谷）



☆ 安全で便利な交通環境の整備

「山形直行バス実証運行事業」

(担当：税務町民課)

山形直行バスは、山形市内の高校に通学している親の経済的・時間的負担の軽減と、通学・通勤・通院等の利便性向上を図るため、平成 21 年度に引き続き運行いたします。

主な経費

・山形直行バス運行経費 **拡充** 660万円

----- 財 源 内 訳 -----

・国の補助 391万円

・町の負担（一般財源） 269万円

【利用料金】

	高校生以上	中学生以下	小学生未満
乗車1回当り	500円	250円	無料

定期券の種類		1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
片道定期	通学	6,000円	17,000円	31,000円	60,000円
	通勤	8,000円	22,500円	41,000円	80,000円
往復定期	通学	12,000円	34,000円	62,000円	120,000円
	通勤	16,000円	45,000円	82,000円	160,000円

※往復定期券に限り、左沢駅前発から宮宿行きの山交バスも平日利用ができます。

【時刻】

■往路（朝日町 ⇒ 山形市）

4月～11月及び3月

太郎公民館前	役場前	山形駅西口	山形市役所	北駅西
6:33	6:42	7:35	7:48	8:00

12月～2月

太郎公民館前	役場前	山形駅西口	山形市役所	北駅西
6:18	6:27	7:32	7:48	8:00

■復路（山形市 ⇒ 朝日町）

4月～3月

山交バス本社前	山形駅西口	山形市役所	北駅西	役場前	太郎公民館前
18:10	18:15	18:20	18:28	19:21	19:30

※土曜日、日曜日、祝日及び年末年始（12月31日～1月3日）の運行はありません。

※発着地が太郎公民館前になります。

ぜひ、ご利用ください。



☆ 安全で便利な交通環境の整備

「デマンドタクシー“あいのり号”実証運行事業」 (担当：政策推進課)

4月1日より、交通空白地域の解消や高齢者が安心して通院や買い物ができるように、「デマンドタクシー“あいのり号”」を運行します。

なお、当面は西部地区、上郷地区及び沢内地区と宮宿エリアを結ぶ運行を行います。(和合地区、北部地区については、民間路線バスとの協議が必要であるため、今回の運行エリアから外れていますが、できるだけ早く町内全域で運行できるよう努力していきます。)

主な経費

・デマンド型交通導入検討事業 **新規** 1,394万円

----- 財源内訳 -----

・国の補助 507万円
 ・町の負担(一般財源) 887万円



【運行日】

■月曜日から金曜日の平日に運行します。

※土曜日、日曜日、祝日及び年末年始(12月31日～1月3日)の運行はありません。

【運行時刻】

●上り(各地区発、宮宿行き)

①午前8時 ②午前9時45分 ③午後1時
 ④午後3時15分 ⑤午後4時45分

●下り(宮宿発、各地区行き)

①午前9時 ②午後0時15分 ③午後2時30分
 ④午後4時

※乗車人数や運行経路が毎回異なりますので、時刻表は目安となります。また、予約が無い場合は運行しません。

【利用料金】

○全区間1回につき400円。

○小中学生、障害者手帳所持の方は200円、幼児は無料です。

※12枚綴りの回数券(4,000円)も発行いたします。

【予約方法】

- ・予約センターにて一括で行います。
- ・予約は運行時刻の30分前まで可能です。ただし午前8時の宮宿行きについては、前日の午後6時までとなります。
- ・受付は、平日の午前7時30分から午後6時までです。

【予約センター電話番号】 67-2173

☆ 循環型地域社会の構築

「空気のふるさと推進・菜の花活用循環型推進事業（菜の花プロジェクト）」

（担当：税務町民課・産業振興課）

町のシンボルである「澄んだ空気」を大切に守るため、環境基本計画に基づき、空気のふるさと推進事業に取り組みます。

また、環境意識が高まる中、耕作放棄地を利用して育てた菜の花から、菜種油を採取し学校給食等に利用し、使用済みの廃油から再びバイオディーゼル燃料にリサイクルする取り組みを通じ、循環型環境意識の醸成を図ります。

主な経費

- ・ 空気のふるさと推進事業 10万円
- ・ ごみ集積所への廃食油回収ボックスの設置、環境学習の実施等 70万円

----- 財 源 内 訳 -----

- ・ 町の負担（一般財源） 80万円



☆ 豊かな自然と調和した快適な生活基盤の整備

「まちづくり交付金による町道・交流広場等の都市基盤整備」

（担当：建設水道課）

住みやすいまちづくりの社会基盤整備や地域資源を活用する案内板の設置を行い、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図ります。

主な経費

- ・ まちづくり交付金事業 4,686万円

----- 財 源 内 訳 -----

- ・ 国の負担 1,180万円
- ・ 町の負担（借金・過疎債） 1,770万円
- ・ 町の負担（一般財源） 1,736万円

平成22年度 当初予算額（会計別総括表）

（単位：円、％）

会計の別		区分	当初予算額		比較増減		
			平成22年度	平成21年度	予算額	率	
一 般 会 計			41億2,000万	46億4,500万	5億2,500万	11.3	
		うち他会計からの繰入	0万	0万	0万	0.0	
		うち他会計への繰出	5億1,355万	4億7,601万	3,754万	7.9	
特 別 会 計	集落排水事業特別会計		2,170万	2,190万	20万	0.9	
			うち一般会計からの繰入	201万	201万	0万	0.0
	国民健康保険特別会計		10億3,100万	10億1,400万	1,700万	1.7	
			うち一般会計からの繰入	9,349万	9,641万	292万	3.0
	老人保健特別会計		180万	180万		0.0	
			うち一般会計からの繰入	19万	19万		0.0
			うち一般会計への繰出	0万	0万	0万	0.0
	介護保険特別会計		8億6,659万	8億8,770万	2,111万	2.4	
			うち一般会計からの繰入	1億5,865万	1億5,977万	112万	0.7
			うち一般会計への繰出	0万	0万	0万	0.0
	後期高齢者医療特別会計		8,569万	8,668万	99万	1.1	
			うち一般会計からの繰入	3,953万	3,799万	154万	4.1
		うち一般会計への繰出	0万		0万	0.0	
企 業 会 計	病 院 事 業 会 計	収益的収支	7億6,520万	7億6,660万	140万	0.2	
		資本的支出	5,091万	8,285万	3,194万	38.6	
		うち一般会計からの繰入	2億1,714万	1億7,501万	4,213万	24.1	
	水 道 事 業 会 計	収益的収支	1億5,900万	1億6,400万	500万	3.0	
		資本的支出	1億1,710万	1億3,290万	1,580万	11.9	
		うち一般会計からの繰入	247万	462万	215万	46.5	
総 額			72億1,899万	78億343万	5億8,444万	7.5	
会計間のお金の出し入れを除いた正味の総額			67億543万	73億2,742万	6億2,199万	8.5	

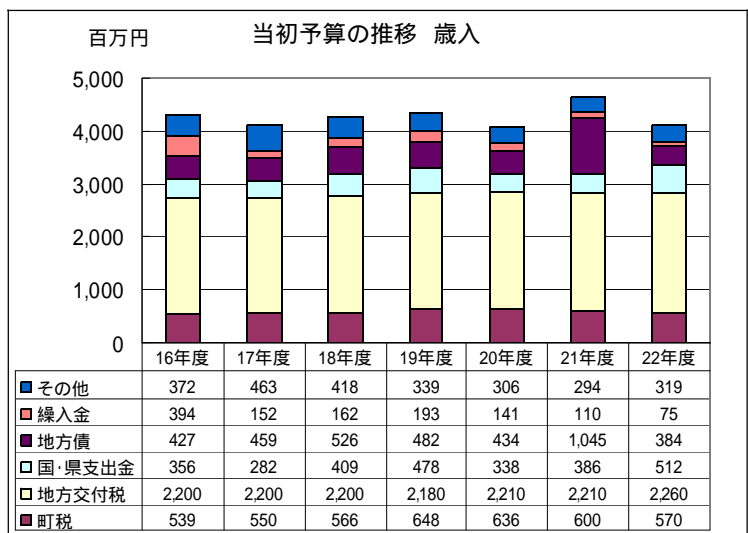
一般会計予算額（決算額）の推移

1. 一般会計当初予算の推移・概要

平成22年度予算規模 41億2,000万円
 （前年度比較5億2,500万円、11.3%の減）

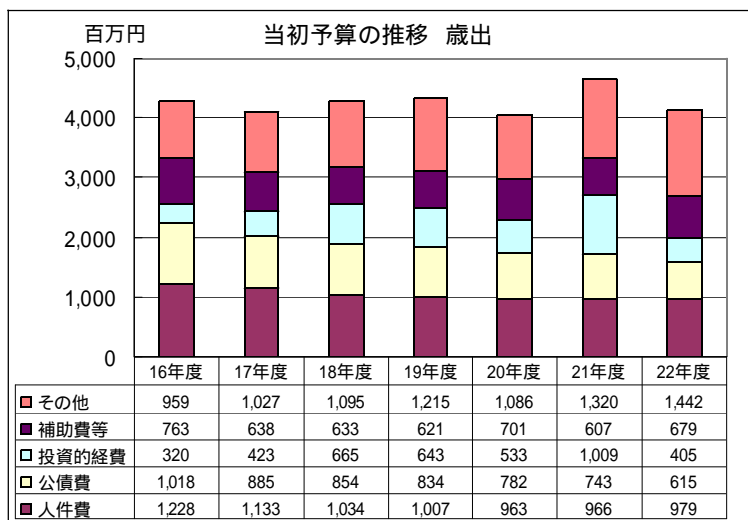
(1) 歳入の特徴

- ・町税：景気低迷による個人・法人町民税の減
- ・地方交付税：経済対策関係経費
 ・地域医療基盤確保による増、公債費算入分の減
- ・繰入金：財政調整基金繰入の増、減債基金繰入の減
- ・町債：過疎債（あさひ保育園整備事業他）の減、臨時財政対策債の増



(2) 歳出の特徴

- ・投資的経費：あさひ保育園整備事業の減、町道整備の増、小学校施設整備の増
- その他
 補助費等：地域医療基盤の維持
 ・強化のため、病院事業会計操出補助の増



2. 人件費の状況

(1) 人件費は平成11年度の13億6,900万円がピーク。

(単位:百万円、%、人)

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
人件費	1,192	1,118	1,029	1,011	976	966	979
伸び率	3.2	6.2	8.0	1.7	3.5	1.0	1.3
職員給	794	724	652	649	631	619	607
伸び率	2.7	8.8	9.9	1.5	2.8	1.9	1.9
職員数	129	119	109	110	103	103	103

(20年度までは決算、21年度からは当初予算額)

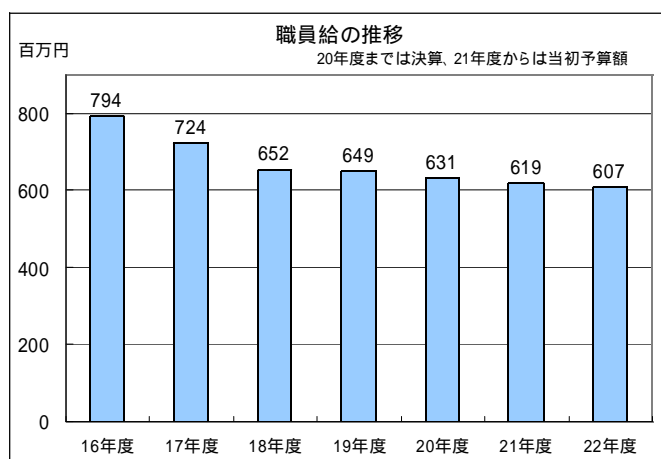
(2) 職員給・職員数とも

平成11年度の9億2千万円、

149人がピーク。

職員数の削減、給料制度・諸手当の見直しによる減等により、職員給は

11年連続の削減。

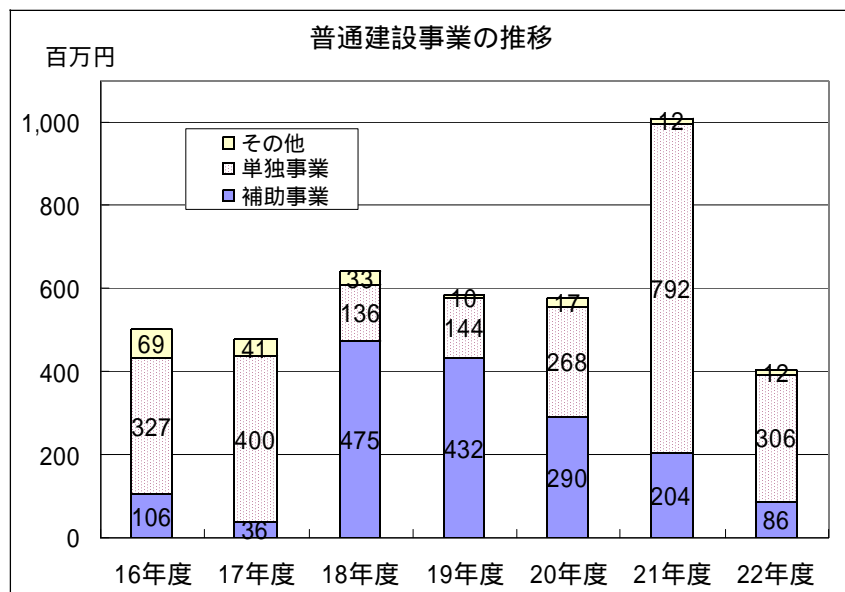


3. 普通建設事業(公共事業)の状況

平成20年度以降は、『町民生活と地域経済を守る緊急対策』のため積極的に単独事業を実施

施策の「選択と集中」を行う

・21年度は「あさひ保育園整備事業」のため、大幅な増となっている



(20年度は決算、
21年度からは当初予算額)

4. 財政運営の健全性の維持

(1) 健全化判断比率の健全水準の維持(第3次財政改革実施計画の取り組み)

平成21年度は、「あさひ保育園整備事業」の実施により予算規模は大幅に増加した。22年度も『町民生活と地域経済を守る緊急対策』のため、積極的に施策を実施する。施策の実施にあたっては、国県補助交付金や、過疎債等の償還金に対し後年度に財源措置のある有利な町債の活用に努める。また、行財政改革や公債費の削減等で経常的経費充当一般財源の抑制を行い、財政運営の健全性を維持する。

「実質赤字比率」、「連結赤字比率」

財政調整基金残高の維持、一般会計から他会計への適切な繰出補助により、引き続き黒字決算となることが見込まれる。

「実質公債費比率」、「将来負担比率」

町債残高が増加したが、過疎債等の償還金に対し後年度に財源措置のある有利な町債の活用により、県内市町村でトップクラスの健全性を維持する。

	20年度 決算	21年度 見込	22年度 見込	23年度 計画目標値
実質公債費比率	12.1%	11.8%	12.0%	12.5%以下
将来負担比率	53.8%	63.1%	72.5%	83.0%以下

町債残高は、平成12年度の80億8千万円(減税補てん債1億8千万円を除いた現在高は79億円)がピーク。21年度は「あさひ保育園整備」のため増となっている

(単位:百万円)

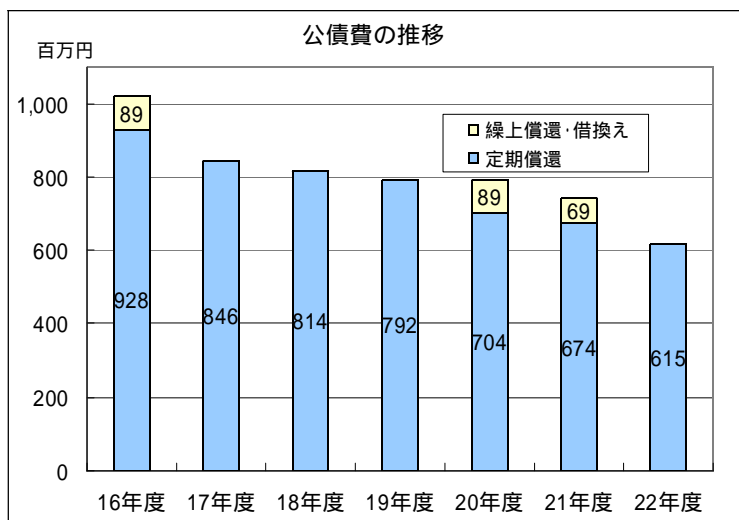
	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
発行額	448	493	499	445	399	1,162	383
臨財債・減税補てん債	264	206	181	161	151	234	244
臨財債以外分	184	287	318	284	248	928	139
町債残高	6,230	5,818	5,607	5,357	5,054	5,681	5,535
臨財債・減税補てん債	1,123	1,307	1,449	1,548	1,619	1,765	1,912
臨財債以外分	5,107	4,511	4,158	3,809	3,435	3,916	3,623

(20年度までは決算、21年度は決算見込)

「決算統計」の記載要領に準じて計上(病院整備に充当した過疎債を除く)

定期償還分の公債費は、平成15年度の10億2千万円（繰上償還分2億2千万円を加えた公債費は12億5千万円）がピーク。町債発行額の抑制・繰上償還により、7年連続減少

（20年度までは決算、
21年度は決算見込）



財政調整基金の年度末現在高は、平成18年度以降7億円超で推移

予算取崩額 平成21年度当初：36百万円

平成22年度当初：67百万円

(単位:百万円)

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
前年度末現在高	419	565	637	730	724	731	731
歳計剰余金処分積立額	146	72	118	71	119	127	60
予算積立額			3	2	2	2	2
予算取り崩し額			28	79	114	129	67
年度末現在高	565	637	730	724	731	731	726

(20年度までは決算、21年度は決算見込)



「平成22年度 朝日町予算説明書」

朝日町総務課